



中興化成工業 代表取締役社長

しょうの なおゆき
庄野 直之 氏

◎出身校

早稲田大学政治経済学部

◎好きな言葉

打たないシュートは100%外れる

◎趣味

音楽鑑賞(ジャズ、ブルース)、読書(濫読)、テニス



F1松浦工場の全景

比較優位性保ち、さらに進化

会社の「強み」とは、言い換えれば比較優位性です。われわれのような日本の企業は、例えば新興国など他国と比べると独特のきめ細やかさがあり、契約履行に対する遵守精神が強くなる。そして何より「くよくよ力」が強い。くよくよすることはメーカーにとつてもすごい強みになります。常に不良品や納期遅れを心配している企業が実は絶対的に強い。納期遅れを気にしない企業体質が根付いて

いる国に負けるわけがないと思っています。われわれはフツ素樹脂という加工しにくい素材を製品化しています。固めたり、削ったり、塗ったり、伸ばしたりと加工にはいろいろな工夫をしますが、同業他社に対しての比較優位性は加工手段を幅広くそろえている点です。料理店に例えると和食も洋食も中華もどんな料理もできる。お客さまの課題に応じ最適な加工を提案できることが強

みだと思っています。新しいJR長崎駅の屋根膜材にも製品を使っていたきました。強度があり、紫外線に強く、耐久、不燃、透光性に優れた膜材です。昼は明るく開放的な空間を演出し、夜はホームの照明が外に漏れて長崎の夜景の魅力を増すことに一役買うはずですよ。来年3月は創業60周年を迎えます。今はその助走期間です。昨年12月には宇都宮工場の新築屋が竣工しました。松

浦工場も新設備を整えており、近い将来には工場のリニューアルも計画しています。慣用句に「男子、3日会わざれば刮目して見るべし」とあります。3年来なければ、目を見張るような工場になっている。そういう進化を目指していきます。

